



ごみ減量・リサイクル通信

発行／編集 青梅市環境部清掃リサイクル課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1 ☎22-1111(内線 2336~2339)

有害ごみ分別の切なるお願い

有害ごみの分別徹底をお願いします!!

平成 27 年 9 月 2 日 (水曜日)、**ごみ収集車で火災が発生**しました。原因は、「燃やさないごみ」に混入していた卓上ライターでした。火災が発生した車両の様子は、右の写真のとおりです。ご覧のように、消防車が出動する事態となりました。

今回はボヤ程度の火災で済み、幸いにもけが人はおらず、大きな事故とはなりませんでしたが、消防車が出動したこともあり、周辺は一時、混乱しました。

また、11月5日(木曜日)にも車両火災が発生しました。この時も幸いボヤで済みましたが、本来であれば「有害ごみ」として排出すべきスプレー缶や電球などが含まれていました。この様子は左下および右下の写真のとおりです。もし仮に1台の収集車にいくつもの有害ごみが積載されますと、一つの爆発が複数の爆発を呼び、今回のボヤ程度では済まない大惨事になる可能性があります。



(↑ 9月2日に起きた火災時の様子)

ごみ回収の際、作業員が袋の外側から中身の確認を行い、分別の違うものが確認できれば回収していませんが、100%の確認を行うことは物理的にかなり困難です。ごみ収集担当者の安全確保、そして皆さんの安全確保のためにも、乾電池、蛍光管、電球、スプレー缶、使い捨てライターなどは、中身の見える透明か半透明の袋に入れて、有害ごみとして排出してください。

絶対に、他のごみの収集袋に入れないでください。



(↑ 出火元を確認している時の状況)

上と右の写真は、11月5日に発生した火災の様子。右の写真は、燃やさないごみの中から見つかった有害ごみ。中には、気化した水銀が含まれる蛍光管も見つかりました。

(↓ 見つかったスプレー缶等)



(↑ 蛍光管や乾電池)



平成28年1月から 有害ごみの直接持込み受付を開始します

家庭から出る不要となった有害ごみ（乾電池・蛍光管・ライター等）は、現在、「燃やさないごみ」や「容器包装プラスチックごみ」と同じ日に回収していますが、1月からリサイクルセンターに持込むことが可能になります。**排出機会が拡大するとともに、収集車両の火災発生のリスクも減ります。ぜひ、ご利用ください。**

なお、今までどおり、「燃やさないごみ」や「容器包装プラスチックごみ」と同じ日に出すこともできます。その際は、透明か半透明の袋に入れて出してください。



1 持込み開始時期

開始日：平成28年1月4日（月）から

受付日：月曜日から金曜日、日曜日
（祝日、年末年始を除く）

受付時間：午前9時～午後4時

2 有害ごみとして出せるもの

○乾電池（小型充電式電池・ボタン電池を除く）
○蛍光管（直管形・丸形・コンパクト形等、割れないよう品物が入っていた箱や筒に入れて出してください）

○電球

○水銀体温計（割れて飛び散らないようポリ袋に入れてください。なお、液晶式体温計は「燃やさないごみ」で出してください）

○スプレー缶（消火器を除く）

○カセットコンロ用ガスボンベ

○煙式殺虫剤の容器（金属製）

○ライター

*中身の残っているライター・カセットコンロ用ガスボンベ・スプレー缶は、火災や爆発の恐れがあるため、なるべく使い切ってから出してください。やむを得ず中身が残っている場合は、「残り」等の貼り紙をしてください。

3 持込み方法等

粗大ごみ受付で住所確認後、それぞれの専用箱に入れてください。

*蛍光管は、持込む途中で割れてガラス等が飛散しないようご注意ください。

*自宅から持込む際に使用した袋や箱等は、お持ち帰りください。

リサイクルセンター案内図



専用の回収箱に入れてください

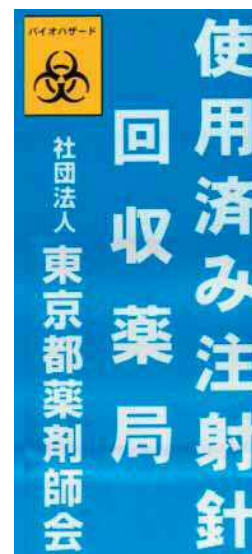


有害ごみ専用の回収箱



ご家庭での使用済注射針の取り扱いについて

インスリン自己注射等の在宅医療に伴い排出される使用済み注射針は、処方した医療機関（病院・診療所）または薬局に返却してください。
 東京都薬剤師会では在宅医療に伴う使用済み注射針の回収事業を行っています。回収事業実施薬局（右写真）では注射針とともに専用回収容器をお渡しして、これを回収していますので、ご協力をお願いします。



注意！
 燃やさないごみ袋等に入れての排出は、二次感染などの事故の原因になり大変危険ですので、絶対にお止めください。



注射針専用回収容器

こちらの看板が目印です

「危険物」排出時のお願い

割れたガラス、刃物、釣り針などを出す場合は、新聞紙やぼろ布などに包んで、「危険物」や「割れもの」などの表記をし、指定収集袋（燃やさないごみ）に入れて出してください。

リサイクルセンターでの手選別作業時、作業員に危険が伴います。皆さんのご理解・ご協力をお願いします。



主な危険物

- ・アイスピック
 - ・カッターナイフの刃
 - ・鎌（かま）
 - ・カミソリの刃
 - ・鉋（かんな）
 - ・鋸（のこぎり）
 - ・草刈がま
 - ・千枚通し
 - ・彫刻刀
 - ・釣り針
 - ・ナイフ類
 - ・鉈（なた）
 - ・のこぎり
 - ・刃物
 - ・針類
 - ・包丁 など
- ※30cmを超えるものは、粗大ごみになります



青梅市のごみ処理費用は？

市民1人あたり年間
17,661円

1世帯(2.2人)あたり年間
39,666円

ごみ1kgあたりの経費
63円

平成26年度 ごみ処理経費の内訳

3億5,326万円

- 東京たま広域資源循環組合(最終処分場)負担金 **3億4,494万円**
- 有害ごみ対策経費 **832万円**

最終処分
14.6%

9億259万円

- 西多摩衛生組合(焼却施設)負担金 **6億307万円**
- リサイクルセンター管理・施設整備経費等(燃やさないごみや容器包装プラスチックごみの選別処理など) **2億9,952万円**

中間処理
37.2%

収集・運搬等
48.2%

11億6,808万円

- 収集・運搬委託料等 **9億6,843万円**
- 清掃総務費(ごみ収集センター、施設見学会、ごみ情報誌発行等のごみ減量対策費など) **1億6,014万円**
- じんかい処理費(施設管理経費など) **3,951万円**

合計 24億2,393万円

平成26年度の青梅市におけるごみ処理経費は24億2,393万円かかっており、一般会計(歳出)に占める割合は5.1%です。

リサイクルショップをご利用ください！

リサイクルショップは、リサイクルセンターに併設された店舗で、リサイクルセンターに運びこまれた、まだ使えそうな自転車、家具等を選び、修理をして、低価格で販売しています。

また、大きな家具等、購入した商品の市内配送サービス(有料)もあります。



＜リサイクルショップの営業日・時間等＞

営業日：月曜日から金曜日、日曜日(祝日、年末年始は除く)

時間：午前9時から午後4時

運営：公益社団法人 青梅市シルバー人材センター

問い合わせ：リサイクルショップ

☎32-5374

各種清掃活動時にはお気を付けを！

美化デーによる清掃や資源物の集団回収、ボランティア袋による公共の場の清掃など、環境美化委員の皆さん・自治会・市民の皆さんには平素より大変なご協力をいただき、ありがとうございます。

これらの清掃活動や資源回収につきまして、昨今、活動中の自動車事故等が多発しています。

さらに、これからの寒い時期には、地面の凍結などにより、不慮の事故・怪我が発生しやすくなります。これらの清掃活動は、皆さんの健康あつての活動です。細心の注意を払いながら、活動していただくをお願いします。

